

SDGs未来都市等進捗評価シート

2021年度選定

神奈川県松田町

2023年9月

SDGs未来都市計画名

松田町SDGs未来都市計画

自治体SDGsモデル事業
又は特に注力する先導的取組

—

1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

(1) 計画タイトル

松田町SDGs未来都市計画

(2) 2030年のあるべき姿

「誰一人取り残さない！笑顔あふれる幸せのまち 松田」を実現するとともに、松田町第6次総合計画において定めた町の将来像「いのち“育み” 未来へ“ツナグ” 進化“つづける”故郷」が達成されている。

その実現に向けて、R E S A S や D X（デジタル・トランスフォーメーション）を活用した地域課題の解決など、未来技術の活用を積極的に検討し、各種施策を推進することで次の6つの基本目標と松田町版SDGsを達成していくこととする。

(3) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた優先的なゴール



(4) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※【】内はゴール・ターゲット番号	当初値	2022年（現状値）	2030年（目標値）	達成度（%）
1	地域座談会や出前講座等への参加者数 【17.17】	2019年 232人	2022年 46人	2022年 400人	-110%
2	松田ブランド認定品の売上額 【8.3、8.9】	2019年 7,604千円	2022年 10,521千円	2024年 15,000千円	39%
3	町内における累計起業件数 【8.3、8.9】	2019年 1件	2022年 4件	2024年 5件	75%
4	木質バイオマス燃料（薪）の生産量 【9.4】	2019年 0t	2022年 29t	2023年 150t	19%
5	地域座談会や出前講座等への参加者数 【17.17】	2019年 232人	2022年 46人	2022年 400人	-110%
6	再生可能エネルギー出前講座参加者数 【4.7、13.3、15.2、15.4、7.17】	2019年 0人	2022年 0人	2023年 90人	0%
7	I C T環境を活用した授業の割合（年間） 【4.7、13.3、15.2、15.4、7.17】	2019年 49%	2022年 85.7%	2024年 80%	118%
8	花の植栽活動実施箇所数 【4.7、13.3、15.2、15.4、7.17】	2019年 60箇所	2022年 60箇所	2023年 100箇所	0%
9	地域での助け合い・支え合いの体制組織数（設置自治会数） 【4.7、13.3、15.2、15.4、7.17】	2019年 20箇所	2022年 20箇所	2023年 全地域を網羅	0%
10	自治会への加入率 【4.7、13.3、15.2、15.4、7.17】	2019年 91.24%	2022年 86.65%	2023年 94%	-166%

1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2022年（現状値）	2030年（目標値）	達成度（%）
11	地域座談会や出前講座等への参加者数 【17.17】	2019年 232 人	2022年 46 人	2022年 400 人	-110%
12	施業森林面積 【6.6、15.2、15.4】	2019年 16 ha	2022年 16 ha	2022年 20 ha	0%
13	一人一日あたりのごみ排出量 【12.5】	2019年 891 g	2022年 807 g	2022年 820 g	118%
14	木質バイオマス利用設備の導入によるCO ₂ 排出削減量 【7.2、13.3】	2019年 0 t-CO ₂	2022年 31 t-CO ₂	2022年 145.1 t-CO ₂	21%
15	COOL CHOICE事業賛同者数 【7.2、13.3】	2019年 778 人	2022年 1,600 人	2023年 1,600 人	100%

(5) 「2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

・全体を通じて、コロナ禍によりイベントなどの開催が制限されたことにより、達成状況に遅れが生じている。今後は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことから、徐々にコロナ禍になる前の対応を検討する必要がある。

・「No.1 地域座談会や出前講座等への参加者数」については、新型コロナウイルス感染症の拡大により、町政懇話会（町内2会場）・地域座談会（希望された2自治会のみ）・アンケート調査を実施した。近年では、参加者が減少していることから、若い世代の参加者を増加させるためにテーマの見直しや周知方法などを検討する必要がある。また、出前講座等の参加者を増やすためにも、講座の内容について検討を進めていく。

・「No.2 松田ブランド認定品の売上額」については、松田ブランド認定品の商品紹介に特化したランディングページをインターネット広告を用いて宣伝し、同認定品のオンライン販売を推進し、目標達成に向けて売上額を伸ばした。

・「No.10 自治会への加入率」については、町の人口が減っている中、高齢になり役員ができないといった理由などにより退会する方がいることに加え、転入者が自治会になかなか加入しないことが課題となっている。本年度から取り組みを開始した自治会加入申込書の配付については、少ないながらも一定の効果があるため、引き続き取り組みを進めていく。

・本町の重点的取り組みとなる木質バイオマス事業において、令和3年8月に新製造団体を選定し、本格的に動き始めた。木質バイオマス事業における雇用の創出や、森林の整備において目標値の達成に向け大きく近づいている。以前は灯油を使用して温水にしていたが、現在は焚き付け時のみとなっており、木質バイオマスボイラーの本格稼働によりCO₂排出量を削減した。一方、新型コロナウイルス感染症の影響により、町健康福祉センター温浴施設の営業日が週6日から週5日になったことに加え、営業時間も1時間短縮されたことにより、薪の供給量が想定より減少した。

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2021年～2023年

(1) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値	2021年 実績	2022年 実績	2023年 実績	2023年 目標値	達成度 (%)
1	① コミュニティをさらに活性化する仕組みづくりプロジェクト	地域座談会や出前講座等への参加者数	2019年 232 人	2021年 64 人	2022年 46 人		2022年 400 人	-110%
2	① コミュニティをさらに活性化する仕組みづくりプロジェクト	自治会加入率	2019年 91.24 %	2021年 89.07 %	2022年 86.65 %		2022年 94 %	-166%
3	① コミュニティをさらに活性化する仕組みづくりプロジェクト	防災訓練への参加者数	2019年 2,539 人	2021年 0 人	2022年 0 人		2022年 3,300 人	-333%
4	① コミュニティをさらに活性化する仕組みづくりプロジェクト	地域での助け合い・支え合いの体制組織数（設置自治会数）	2019年 20 か所	2021年 20 か所	2022年 20 か所		全地域を網羅	0%
5	② 新松田駅・松田駅周辺のまちづくりプロジェクト	商工業販売・出荷額	2019年 120.3 億円	2021年 156.2 億円	2022年 163.2 億円		2024年 135.0 億円	291%
6	② 新松田駅・松田駅周辺のまちづくりプロジェクト	新松田駅における定期外乗車人員数（年間）	2019年 1,713,288 人	2021年 947,263 人	2022年 データなし 人		2024年 1,742,385 人	-
7	② 新松田駅・松田駅周辺のまちづくりプロジェクト	松田駅における定期外乗車人員数（年間）	2019年 511,368 人	2021年 283,093 人	2022年 データなし 人		2024年 516,845 人	-
8	② 新松田駅・松田駅周辺のまちづくりプロジェクト	新松田駅南口駅前広場等整備事業の進捗率	2019年 50 %	2021年 50 %	2022年 55 %		2022年 100 %	10%
9	② 新松田駅・松田駅周辺のまちづくりプロジェクト	2020～2024年の5年間における社会移動数	2019年 ▲ 223 人	2021年 ▲ 85 人	2022年 23 人		2024年 ▲ 137 人	286%
10	③ 地域資源のブランド化プロジェクト	生涯学習事業への参加	2019年 30 %	2021年 58.4 %	2022年 60 %		2022年 70 %	75%
11	③ 地域資源のブランド化プロジェクト	観光客数	2019年 665 千人	2021年 374 千人	2022年 522 千人		2022年 788 千人	-116%
12	③ 地域資源のブランド化プロジェクト	松田ブランド認定品の売上額	2019年 7,604 千円	2021年 9,311 千円	2022年 10,521 千円		2022年 15,000 千円	39%
13	③ 地域資源のブランド化プロジェクト	木質バイオマス燃料（薪）の生産量	2019年 0 t	2021年 10 t	2022年 29 t		2023年 150 t	19%

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2021年～2023年

No	取組名	指標名	当初値	2021年実績	2022年実績	2023年実績	2023年目標値	達成度(%)
14	④ 次代の育成・女性活躍・高齢者活躍の場づくりプロジェクト	女性による創業・起業件数	2019年 0 件/年	2021年 1 件/年	2022年 4 件/年		2022年 1 件/年	400%
15	④ 次代の育成・女性活躍・高齢者活躍の場づくりプロジェクト	合計特殊出生率	2019年 1.65	2021年 データなし	2022年 データなし		2024年 1.32	2021年度分は2023年度（11月～12月予定）、2022年度分は2024年度（11月～12月予定）
16	④ 次代の育成・女性活躍・高齢者活躍の場づくりプロジェクト	保育所・学童保育の待機児童数	2019年 0 人	2021年 0 人	2022年 0 人		2024年 0 人	100%
17	④ 次代の育成・女性活躍・高齢者活躍の場づくりプロジェクト	健康づくり事業へ参加者数（年間：延数）	2019年 649 人	2021年 1,079 人	2022年 1,115 人		2024年 1,500 人	54%
18	④ 次代の育成・女性活躍・高齢者活躍の場づくりプロジェクト	介護予防事業へ参加者数（年間：延数）	2019年 5,663 人	2021年 2,357 人	2022年 2,979 人		2024年 7,200 人	-174%
19	④ 次代の育成・女性活躍・高齢者活躍の場づくりプロジェクト	地域での助け合い・支え合いの体制組織数（設置自治会数）	2019年 20 か所	2021年 20 か所	2022年 20 か所		全地域を網羅	0%
20	④ 次代の育成・女性活躍・高齢者活躍の場づくりプロジェクト	民生委員児童委員の配置	2019年 34 名	2021年 36 名	2022年 36 名		2023年 37 名	66%
21	④ 次代の育成・女性活躍・高齢者活躍の場づくりプロジェクト	認知症カフェの維持	2019年 1 か所	2021年 1 か所	2022年 1 か所		2022年 1 か所	100%

(2) 自律的好循環の形成へ向けた制度の構築等

「松田町SDGs推進プラットフォーム（パートナー制度）」について、令和4年7月に制度を開始し、令和4年12月にプラットフォームにマッチング機能を実装した。本制度により、町内でSDGsの目標達成や地域課題の解決に向けて活動している個人・法人・団体等の活動が見える化することで、町とパートナー、パートナー同士のマッチングの機会を創出したい。また、町とパートナーとのマッチングのみではなく、パートナー同士もマッチングできることにより、地域課題の解決がさらに促進されるとともに、持続的に取組みが推進され、自律的好循環の形成を図ってきたい。

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2021年～2023年

(3) 「自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

・全体を通じて、コロナ禍によりイベントなどの開催が制限されたことにより、達成状況に遅れが生じている。今後は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことから、徐々にコロナ禍になる前の対応を検討する必要がある。

・「No. 1 地域座談会や出前講座等への参加者数」については、新型コロナウイルス感染症の拡大により、町政懇話会（町内2会場）・地域座談会（希望された2自治会のみ）・アンケート調査を実施した。近年では、参加者が減少していることから、若い世代の参加者を増加させるためにテーマの見直しや周知方法などを検討する必要がある。また、出前講座等の参加者を増やすためにも、講座の内容について検討を進めていく。

・「No. 2 自治会への加入率」については、町の人口が減っている中、高齢になり役員ができないといった理由などにより退会する方がいることに加え、転入者が自治会になかなか加入しないことが課題となっている。本年度から取り組みを開始した自治会加入申込書の配付については、少ないながらも一定の効果があるため、引き続き取り組みを進めていく。

・「No. 3 防災訓練への参加者数」については、新型コロナウイルス感染症の影響により訓練自体が中止となったが、町広報紙において「防災備品・非常持ち出し品チェックリスト」を掲載するなど、町民における防災意識を向上させた。

・「No. 11観光客数」については、新型コロナウイルス感染症の影響によりまた観光まつりが中止となったことから、観光客数が減少した。今後は、広域的な連携による観光振興を進め、入込客を増加を目指していく。また、自然豊かな寄地区のハイキングやドッグラン、農泊や農業体験会を通じた寄地区と松田山南斜面の魅力を活かし、環境誘客を進めていく。

・「No. 18介護予防事業へ参加者数（年間：延数）」については、新型コロナウイルス感染症の影響により参加者数が減少した。参加者数を増やす取組として、広報に福祉課イベントカレンダーを掲載して各事業の周知を行った。来年度からは、寄地区住民を対象とした教室を通年実施し、町民全体へ健康増進の普及を図っていく。

(4) 有識者からの取組に対する評価

・松田町SDGs推進プラットフォームが立ち上がり、まさにこれからが重要な段階だと推察する。着実かつ具体的な推進を期待する。

・施業森林面積は目標20haに対し、2022年に増加していないことについて説明を期待する。販売額が大幅に増加していることと取り組みとの相互の関係、効果についての検討を期待する。